



防災学習

Disaster Prevention Learning

6月20日に、留学生は池袋防災館を訪れ、体験を通して、災害時の対応とともに、そのときに使える「火事だ!」などの日本語も勉強しました。学生たちは、すでに地震を体験したこともあり、真剣に取り組んでいました。

On June 20, international students visited Ikebukuro Boosaikan (Life Safety Learning Center). Through simulation activities, in addition to what to do when disaster happens, they learnt some new Japanese phrases such as "Fire!" As they have already experienced an earthquake, they engaged in the activities seriously.



先週の金曜日、いけぶくろぼうさいかんに行きました。じしんのとき、こわいそうです。タイでじしんがありませんから、私はじしんにあったことがありません。私の好きなアクティビティはかじだと思います。かじのアクティビティでしょうかきの使いかたをべんきょうしました。おもしろくて、たのしかったです。でも、かじをけすことができません。にげてください。さいごに「かじだ」と「にげる」と「しょうかき」をおぼえてください。

(キット/ピッサヌローク・タイ)

先週の木曜日、私たちは一緒に電車で池袋に行きました。防災かんは池袋にいちしていますから。防災かんはとてもおもしろかったです。マグニチュード7の地震をけいけんしました。消化器の使い方をべんきょうしました。さいごに、2011の東日本の地震を勉強しました。人間はよわすぎると思います。

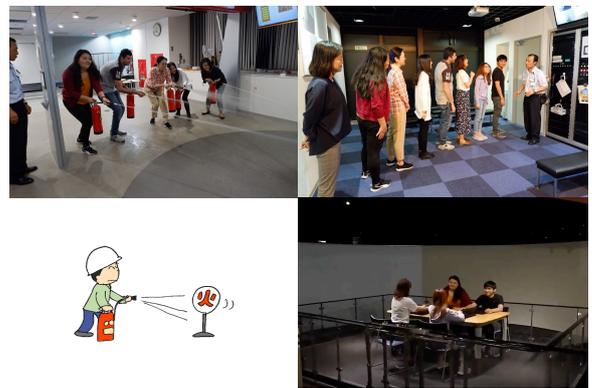
(アビデ/ウルムチ・中国)

私はいけぶくろ防災館が好きです。ここで私たちじしんについてたくさんまなびました。モンゴルにじしんはあまりありませんから、私はじしんについてあまりしりませんでした。けむりのへや、じしんのシミュレーション、とうほくちほうのじしんについてのえいがは、すべてゆうえきで、きょういくででした。

(ウヤンガ/ウランバートル・モンゴル)

せんしゅうの木曜日に私たちは友だちといけぶくろ防災かんに防災をならいに行きました。たくさんのおもしろいシミュレーションをしましたから、おもしろくて、たのしかったです。いちばん好きなへやがじしんのシミュレーションのへやです。日本で大じしんがはっせいした2011年のじしんのしんどをじっかんできましたから。じしんのシミュレーションのとき、私はこわかったです。そして、ひがいしゃのきもちをりかいました。このじしんのシミュレーションのへやがはっせいしたときのたいしよほうほうについて、たくさんのおもしろいことを学びました。

(バル/バンコク・タイ)



日本語教室より

最近、日本に住む外国人が多くなっていくにつれ、その人たちとどのようにコミュニケーションをとるのかということが大きな問題となってきました。

災害時の情報提供などに特に焦点を当てた「やさしい日本語」もその一つです。地震で津波警報が出たとき、テレビ画面に「すぐにげて!」「つなみ!にげて!」と表示が出たのを見たことがある人もいます。

留学生には、緊急時の日本語も含めて、日本での生活に困らない程度の日本語は身につけてほしいと思うと同時に、この「やさしい日本語」のような意識も広がればいいなと思う今日この頃です。

Most students started learning Japanese in mid-April, so their Japanese might sound a little unnatural. We would appreciate your understanding.